

◆ 次の新聞記事を読んで、あとの問いに答えましょう。

歌集「ひまわり」できたよ

秋の情景いきいき112首

本庄小6年生



(佐賀新聞 平成二十三年十月十四日付 十七面)

制作した短歌をまとめた歌集「ひまわり」を手にする6年生と、指導した丹野真智俊さん(後列右)＝佐賀市の本庄小

佐賀市 佐賀市の本庄小(古賀正道校長)で、地元の自治会長らを講師に招いた短歌の授業があり、6年生の短歌を手こめた歌集「ひまわり」が完成した。それぞれ子どもらしい感性と素直な表現で、「秋」の情景を生きて切り取っている。

自治会長らが講師

短歌の授業は、市の地域コミュニティ活性化モデル事業の一環で、本庄まちづくり協議会の地域教育実践部が企画。本庄自治会長の丹野真智俊さん(3)らが講師を務めた。授業では正岡子規や若山牧水、石川啄木の短歌を味わい、作品に込められた思いを学習。「彼岸花」「秋祭り」「芒原」を題詠に「五七七七七」と指で字数を数えながら短歌に挑戦した。「キレイだな花火のように咲く花だ 秋の小道に咲く彼岸花(川浪総明君)」「秋祭りみこしをかつぐ五秒前 はちまき締めて気合を入れる(内山日菜子さん)」。歌集には6年生全員の112首が収められた。丹野さんは「躍動感にあふれる作品ばかり。命や社会事象に目を向けるきっかけになれば」と話す。完成した歌集は6年生全員に贈られたほか、地元公民館などにも寄贈された。

右の新聞記事の①から④の部分には、それぞれどのような特ちょうがあるでしょう。次の【新聞記事の特ちょう】の、アからエまでのの中から、合うものを選んで、() に記号で書きましょう。

① 見出し ()

② リード文 ()

③ 本文 ()

④ 写真とその説明 ()

【新聞記事の特ちょう】

ア 記事の題名に当たる。記事の中心を短い言葉で表して、ひと目で分かるよう大きく書かれている。

イ 出来事のくわしい内容が書いてある。

ウ 内容をより分かりやすく、くわしく伝えるために、のせられる。

エ 記事の内容を短くまとめて書いてある。



読む

新聞記事を読もう 4

名前

こたえ

◆ 次の新聞記事を読んで、あとの問いに答えましょう。

歌集「ひまわり」できたよ

秋の情景いきいき112首

本庄小6年生



(佐賀新聞

平成二十三年十月十四日付 十七面)

佐賀市 道校長で、地元の自治会長らに講師に招いた短歌の授業があり、6年生の短歌をまとめた歌集「ひまわり」が完成した。それぞれ子どもらしい感性と素直な表現で、「秋」の情景を生き生きと切り取っている。

制作した短歌をまとめた歌集「ひまわり」を手にする6年生と、指導した丹野眞智俊さん(後列右)＝佐賀市の本庄小

自治会長らが講師

短歌の授業は、市の地域「コミュニティ活性化」モラル事業の一環で、本庄まちづくり協議会の地域の丹野眞智俊さん(73)らが講師を務めた。授業では正岡子規や若山牧水、石川啄木の短歌を味わい、作品に込められた思いを学習。「彼岸花」「秋祭り」「芭蕉」を題詠に、「五七五七七」と指で字数を数えながら短歌に挑戦した。

「キレイだな花火のように咲く花だ。秋の小道に咲く彼岸花(川浪総明君)」「秋祭りみこしをかつぐ五秒前。はちまき締めて気合を入れる(内山日菜子さん)」。歌集には6年生全員の112首が収められた。丹野さんは「躍動感にあふれる作品ばかり。命や社会事象に目を向けるきっかけになれば」と話す。完成した歌集は6年生全員に贈られたほか、地元公民館などにも寄贈された。



③

②

①

上の新聞記事の①から④の部分には、それぞれどのような持ちようがあるでしょう。次の【新聞記事の持ちよう】の、アからエまでのの中から、合うものを選んで、() () に記号で書きましよう。

① 見出し (ア)

② リード文 (エ)

③ 本文 (イ)

④ 写真とその説明 (ウ)

【新聞記事の持ちよう】

ア 記事の題に当たる。記事の中心を短い言葉で表して、ひと目で分かるように大きく書かれている。

イ 出来事のくわしい内容が書いてある。

ウ 内容をより分かりやすく、くわしく伝えるために、のせられる。

エ 記事の内容を短くまとめて書いてある。